

平成25年度 決算審査特別委員会

一般会計及び国民健康保険事業特別会計 他5特別会計を認定

1 審査結果

平成25年度一般会計から特別会計等の7議案はいずれも「認定すべき」と決定。

2 審査意見

町税等の滞納額は、町税（町民税・固定資産税・軽自動車税）で1532万9千円（前年度対比1498万7千円の減）、国民健康保険税は2598万円（前年度対比1604万3千円の減）、住宅使用料等は327万8千円（前年度対比81万4千円の減）、財産収入は97万円で（前年度対比10万2千円の増）で合計455万7千円となつており、前年度対比で3174万2千円（41.1%）減少している状況にある。



タイヤロックにより差し押さえられた車両のイメージ

繰越額が減ってきたことは認めるところであるが、介護保険料や後期高齢者医療保険料にかかる特別会計も含めて不納欠損額が増える要素もあり、滞納繰越額がまだ相当額残っている状況にあることから、知内町債権の管理に関する条例もできたことから、時効にかかるような徴収業務に努めてほしい。

また、徴収のための高度なスキルを渡島・檜山地方税滞納整理機構から吸収し、そのスキルを町で發揮できるようになつた際には、機構から脱退することは、機構から脱退することも視野に入れ、今後事務の執行にあたつていただきたい。

滞納繰越額が前年度と比較して3174万2千円の減となり、また、特別会計を含めた不納欠損額305万5千円を差し引いた実質額2868万7千円の滞納繰越額が縮減されているところである。

一方、小谷石振興については、予定された事業が順調に進んでいるが、今後、「お試し暮らし」のようなソフト事業の展開が必要と考えられることから、充分に協議され効果のある事業を展開して欲しい。

また、アカデミックサテライト講習事業については、平成23年度から導入し数年経過しているが、生徒をはじめ教師の頑張りにより、平成25年度には、国公立大学（センター試験）への受験を試みる生徒がでてきており、結果2名が合格するという効果が表われております。それにより定数の確保も期待できると思われるところから、今後の取り組みをさらに期待するものである。

地方財政を取り巻く環境は極めて厳しく、ますます多様化する住民ニーズの中で、行政サービスの量的・質的向上が求められております。このような環境下にあって、行財政改革の推進

や限られた予算を有効に活用したまちづくりに取り組んでいくことを願うものであり、また、審査の過程で述べられた各委員の質疑・討論などの意見・要望を参考し、今後の町政の執行に際し、十分反映されるよう要望するものであります。

総務企画課政策室長 新規起業等支援事業枠でお土産品の開発という事で個人1件、法人1件の申請があり、既に道の駅等で販売されており、売れ行きは好調と聞いている。

質疑 ふるさと創生事業補助で、お土産品の開発等があつたようだが、その結果は。

総務企画課関係質疑

決算審査特別委員会における主な質疑答弁



かぼちゃとトマトを餡に使用したお菓子（法人開発）

質疑 小谷石振興でハード整備については進んでいますが、ソフト部分についての今後の考え方。また、他の町内会への波及は。

総務企画課政策室長 新規起業等支援事業枠でお土産品の開発という事で個人1件、法人1件の申請があり、既に道の駅等で販売されており、売れ行きは好調と聞いている。

質疑 ふるさと創生事業補助で、お土産品の開発等があつたようだが、その結果は。

総務企画課政策室長 新しい分野へのチャレンジといふ事もあり、同一事業への場合、再助成はできないか。

町長 1年間で50万円は少額だという声もありますが、ふるさと創生事業補助とは別に、産業振興の視点で支援ができる体制を協議していきたい。



矢越山荘の完成イメージ図

民間企業と連携し、直売店等で取り扱っていたらこそとも検討しては。

副町長 民間の直売店に他社製品を持ち込むことは難しいと思われるが、相談はして見たいと考えている。

また、物産館で販売しているお菓子類の品数が少ないことから、それらを開発し、今後、できればネット販売も仕向けていきたい。



ニラとかぼちゃを使用したシフォンケーキとクッキー（個人開発）

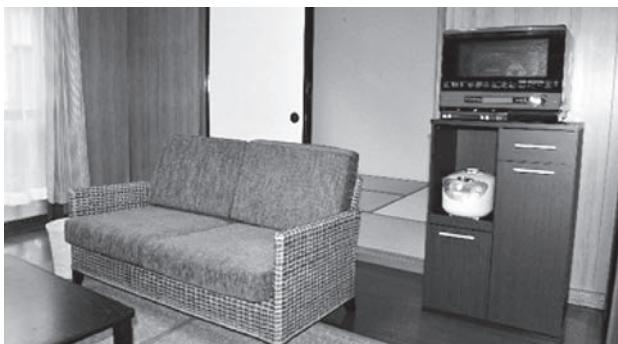
町長 当町を訪れた方々に対する地域の方々の触れ合いや、迎え入れる体制づくりが重要であり、町内会の役員とその体制づくりについて話し合いをし、整備していくかないと考えている。また、その仕組みを全町に広げ、波及効果が生まれるようなメニューづくりが大きな課題であることが、今後検討していく。

質疑

涌元漁村環境改善センターの耐震診断の結果は。

総務企画課長

当該センターの補強工事については必要ないと診断された。



「お試し暮らし住宅」の状況

質疑 医師住宅を改修した「お試し暮らし住宅」第1号の移住希望者が当町を訪れていたが、感触はどうだったか。

総務企画課政策室長

今回滞在した方は、北海道への移住に興味があり、当町の

ホームページを見て来られた。9月上旬から1週間程滞在している時に、魚釣りをしたが魚をうまく捌けず地域の漁師に料理をしていただいたことに、大変感激

し、当町を好きになつたとコメントをいただいています。

しかし、1年間を通して生活で、冬場の生活が大変なことから、春から秋にかけては、当町に住んで、冬は名古屋に戻るというような生活体系を検討したい

質疑 「お試し暮らし住宅」に住んでいただいて、設備的な不満はあつたか。

総務企画課政策室長

冷蔵庫やガス台、電子レンジ等も整備し、風呂もユニットバスへ改修している。居住関係は申し分ないとの事でありますましたが、テレビの設置を見合させていたことがからもテレビは必要と言うから、気象状況や防災の観点ご意見はいただいています。今後は、まだ不足して

いる備品がないか意見等を収集し、整備について検討していきたい。

❖生活福祉課関係質疑❖

質疑 当町は現在、無料で粗大ゴミの収集を行っているが、近隣町は有料になつてている。今後の有料化についての考え方は。

副町長 松前町と木古内町

は以前から有料で、福島町も昨年度から有料化となりました。

管内的にも有料化を進める自治体が多くなつて いるが、当町の1人あたりのゴミ排出量は比較的少ない状況となつており、直ちに有料化する予定はないが、今後の状況や、管内の動向もみながら検討していく。

❖産業振興課関係質疑❖

質疑 都市と地方との交流推進事業として、東京北区で長年実施しているが、今後の事業の進め方について、どのように考えて

町長

現在、本年度で中止するものや、継続するとしても、初期の目的が達成されるかどうかなど、きちんと検証していきたい。



東京都北区で開催された「幸せクッキング」
(都市と地方との交流推進事業)

第3回定例会の概要



インターネットで有名予備校の授業を受ける知内高校生

❖ 教育委員会関係質疑❖

質疑 知内高校におけるアカデミック講習事業について、生徒と教師が一生懸命取り組んでいると聞いていますが、実績と今後の方向性は。

教育次長 センター試験を受験する環境を作りたいと
いうことで当該事業を導入
しており、実績としては、
2名が合格している。

今後も子どもたちが自主的に学習活動に取り組む環境づくりを進めていきたい。

賛成討論 「谷口委員」
インターネットで有名予備校の授業を受ける知内高校生
は公費で賄うべきである。
結果的に他団体に経費を負担させていること自体、地方財政法の第4条第5項、第27条第4項・第5項に抵触する恐れがあることから、認定には反対するものであります。

○反対委員・・・1人
（議席順に記載）
西山委員・木村委員
敦澤委員・谷口委員
吉田委員

一般会計決算認定起立採決
結果（原案認定）

一般会計決算

認定討論

反対討論 「松井委員」

スポーツ交流を町長の町づくりの大きな目玉施策として野球交流を続けていますが、私は交流事業は大いに行うべきだと思います。ただ、毎年度主張していますが、それら施策に係る経費は公費で賄うべきである。

※議長・議選監査委員・委員長は裁決に加わらない。

財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、平成25年度の決算に基づき算定した健全化判断比率及び資金不足比率について、監査委員の審査意見を付し議会に報告があります。

平成25年度 健全化判断比率 (単位%)

健全化判断比率	平成25年度	早期健全化基準
①実質赤字比率	△1.87	15.0
②連結実質赤字比率	△13.51	20.0
③実質公債費比率	15.90	25.0
④将来負担比率	△57.20	350.0

※実質収支又は連結実質収支が黒字である場合、これらの比率は負の値で表示される。

平成25年度 資金不足比率 (単位%)

会計の名称	平成25年度	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0
公共下水道事業特別会計	—	20.0
農業集落排水施設整備事業特別会計	—	20.0

※資金収支が黒字であることから、一で表示しています。